

- 1 世界を変えるための情報や製品を知りたくても、仕事が入り込んでしまいがち。私に代わって探さない人たちのためにお手伝いしたくて、私はグローバル・ヴィレッジとビーブル・ツリーを立ち上げたのです。
- 2 夫のジュームズと私は、会社の方針と理念を決定しました。



## early days...

グローバル・ヴィレッジとビーブル・ツリーを創設したスタッフ



- 3 ある問題のお店に立ち寄ったとき、そこで働いていたカオルと出会いすぐに友だちになりました。私たちはともにグローバル・ヴィレッジを立ち上げ、ナミビア展を開催しました。
- 4 かつて郵政ボランティアとして少しの活動をしてくれたナオカは、今ではビーブル・ツリーの常務取締役。そして、ジュームズとともに、ビーブル・ツリーを牽引してきてくれました。
- 5 これが最初のカタログ、A3サイズ1枚のもの、家族全員で制作しました。

日本とイギリスのビーブル・ツリーでは才能豊かなデザイナーや技術スタッフが働いています。働いていて幸せな時間は、農家の人たちや職人と一緒にいるとき。そして、スタッフと一緒にみんなが買いたくなる魅力的なフェアトレード商品を開発できたとき。



バンガラデシュのフェアトレード団体「タナラスワローズ」。手織りや刺繍の製品作りに取り組んでいます。

インドの有機紅茶栽培園で「ファーストフラッシュ」の収穫にチャレンジ。

インドの小規模オーガニックコットン生産者支援組織「アグロセル」に所属する生産者と一緒に。



## working with Fair Trade groups

さまざまな国の生産者との仕事

1999年、デザインチームをつくり、デザイナーと一緒にバンガラデシュ、インド、ケニア、ペルーを訪問。商品開発やマーケティングなどの支援を生産者団体に提案してきました。今ではビーブル・ツリーと一緒に仕事をしたいという50のフェアトレード団体をサポートするまでになったのです。生産者たちとデザインチームのマネージャー、マサコ（写真右）。



# 20 Years OF PEOPLE TREE & GLOBAL VILLAGE

20年の思い出が詰まったアニバーサリー・スクラップブック



1993年。東京でのイベント「エコプロダクツ展」で商品を販売。私は出展直後でした（息子のジュームズが写真中央のカゴの中に）、フェアトレードの商品とコンセプトを紹介しました。



(左) 1998年。直営第1号店を自由が丘にオープン。それまで商品を販売していた自宅の一部屋でした。お客様にとっても不便で、日曜日の朝、ハジャマのままで接客するのは申し訳なかったです。(右) 現在のビーブル・ツリー自由が丘店。

## Promoting Fair Trade and campaigning for change

フェアトレードの普及と変革のためにさまざまなキャンペーンを実施



生産者団体は、フェアトレードの普及のためにさまざまな協力をしてくれました。これはベトナムのアーティストによるポストカード。



生産者はもちろん。私たちはセールス、PR、物流、マーケティングチームとともに、フェアトレードと持続可能性を創造しています。私は、このエネルギーに満ち溢れた仲間との仕事が好き。



2005年。私たちは、初めての本格的なファッションショーを香港で開催しました。ここでは、アジア各島の20ものフェアトレード団体が集い、セーターやピアスも開発されました。香港のユニバーシティに所属するモデルが、ボランティアとして世界を変えるために協力してくれたのです。警備隊の人たちもきれいなモデルを入りたみたい!



2010年。イギリスの女優マ・ワトソンとコラボレーション開始。現在、日本の大学や専門学校で学生たちがフェアトレードを広める活動をしてれています。



今年で活動を始めて20年。皆さんの支のおかげでフェアトレードのムーブメントを広げ、世界中の救えないほど多くの職人や農家を支援することができています。

設立当初から、ビーブル・ツリーはあらゆる活動の中心に人と地球を据えてきました。現在では140ヶ国を超える「いわゆる」途上国で、50を超える社会企業やフェアトレード団体、そしてオーガニック農家や職人たちが一緒にネットワークを築き、ものづくりをしています。私たちは常にファッションが世界を変えるツールになると信じ、そのことを証明しようとしてきました。フェアトレードは、人びとが持続可能な仕事で生活資金を得、貧困から抜け出すための支援ができます。さらに、コミュニティを発展させ、環境を守ることも可能にします。このフェアトレードとサステナビリティの理念に基づいた新たな経済システムによって、生産者と消費者の双方が力を付けることができるのです。

この20周年記念号ではこれまでの歩みをふり振り返り、たくさんの方が関わって、さまざまなプロジェクトが実現してきた思い出と、未来へのビジョンをご紹介します。

Safia

## My life & life work

ビーブル・ツリーの成長とともに、私の家族も成長しました!



私にはジェローム（現在18歳）とナタリー（現在14歳）のふたりの子どもがいます。ふたりはフェアトレードについての本を書いたり、ビーブル・ツリーではモデル（右）で2011年春夏ユースコレクションで登場）やボランティアをしてきました。2000年ジェロームは絵本『おかしな動物のちよとてみで』を書きました。私は、2008年に自伝『おかしなエコ世界を救おう』。2009年に『By Hand』を執筆しました。（※は現在完成しています）

## People Tree UK

イギリスに姉妹会社設立



2001年。日本に住むイギリス人の友人と一緒にイベントを開催。これをきっかけに、イギリスで当時ほとんど存在していなかったフェアトレード・ファッションを広めるために、ビーブル・ツリーを立ち上げる事を決意。女優のシエナ・ミラは、雑誌の特集でビーブル・ツリーの着てくれました。



2009年。私が大好きな日本人デザイナーのひとり、三原康裕さんと素晴らしいコラボレーションが実現。私は、ほかのブランドのデザイナーさんと仕事をすることが大好き。彼らもフェアトレードののびのびと手織りの生地で作品をつくることに興味をもってくれています。

## Making Fair Trade Fashion

フェアトレード・ファッションの進化



WGSNグローバル・ファッション・アワード2010にて、最優秀サステナブルブランド&リテラー賞を受賞。イラストレーターのマシュー・ラウラガ（写真右）もまた、ビーブル・ツリーとコラボレーションしたリイナイターをのびのびと、世界のクリエイターたちがフェアトレード団体と私たちビーブル・ツリーをサポートしてくれて、とても幸せです。

2004  
春夏コレクション



2005  
秋冬コレクション

## PEOPLE TREE EVOLUTION OF FAIR TRADE FASHION

ビーブル・ツリー  
フェアトレード・ファッションの進化

2008  
春夏コレクション



2009  
春夏コレクション



2011  
春夏ユースコレクション  
SoFT

娘のナタリーもモデルを担当



2010  
秋冬コレクション